

ひたちおおたてくでくウォーク ③

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

菅谷不動尊の滝

滝を望む展望台が震災で崩れていて少し残念



めだき雌滝

かなりの迫力の雌滝



かじかさわ河鹿沢

素晴らしい渓流、途中に水車の水力発電所もある



おだき雄滝

雌・雄滝両方に東屋があり、ゆっくり景色を楽しむことができる

高宮神社のカシ

推定樹齢500年。平成21年の台風で折れてしまった



たつわれさん 堅破山の入口の碑

山岳信仰の堅破山への山道の入口と教えていただいた



今回は、エコミュージアム活動で作られた「お宝マップ」を基に、1周約5Kmのコースを地域の方に案内していただきました。上深荻大菅コミュニティセンターに車を置き歩き始めると、すぐに土砂降りの雨が降ってきました。民家の軒先をお借りすると、そこに住む102歳になるおばあちゃんが顔を出し「今日はどうしたの?」「元気だったけ?」しばし時間を忘れ話し込んでいます、いつの間にか太陽が出ていました。

再び歩き始め、暑さを逃れて山に入り、河鹿沢をさかのぼり菅谷不動尊の滝を目指しました。涼しげな溪流にマイナスイオンが豊富で、近くにはめだきおだき雌滝・雄滝など雄大な滝も見られ、なかなか迫力があります。また、景色を楽しむための東屋があり、ゆっくり休むことができます。溪流をぬけると梨木平工芸の森があり、国道349号まで下ると堅破山の入口の石碑がひっそり立っています。今回のコースは人との触れ合いがあったり、自然の雄大さや歴史を感じることでできる非常にバラエティに富んだコースでした。皆さんもぜひ触れ合いとマイナスイオンを楽しんでください。

表紙によせて 新常陸太田駅舎に、レトロ感あふれる「ハッスル黄門号」の雄姿。7月16日、JR常陸太田駅の新駅舎完成披露式典が同駅前広場で盛大に開催されました。水郡線の愛称は「奥久慈清流ライン」に決定し、水郡線が多くの人に親しまれ、利用されることでしょう。奥久慈清流ラインが乗客と共に、常陸太田の明るい未来と希望を運んでくれるとの願いを込めて。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
72-3111 (内線 303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています